

熊谷 048-521-2724 所沢 04-2943-6013  
越谷 048-989-7770 川越 049-223-8814  
羽生 048-561-2523 秩父 0494-22-1596

一枚の紙から始まる創造性

**末広印刷株式会社**

http://www.suehiro-p.com

本社 川越工場 〒350-0831 埼玉県川越市大字院川字東院川1311-2 Tel.049-226-3251(代)  
営業本部 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目9番2号新大塚プラザ Tel.03-5395-0771(代)  
製造工場 〒367-0105 埼玉県児玉郡美里町大字沼上字北川原343-3 Tel.0495-76-2261(代)

埼玉中央

# アマ劇団でNY目指す

## ミュージカルかぞ総監督 阿瀬見 貴光さん

### ひと物語

「重たい音の壁を、ゆっくりと動かし、いくよように」「もっと明るく。もっと思いっきり」。加須市根古屋の市騎西生涯学習センターで、六日に行われたアマチュア劇団「ミュージカルかぞ」の今年の初練習。団員の歌声の合間に、劇団総監督を務めるオペラ歌手阿瀬見貴光さん(三三)の朗らかな声が響く。

電力福島第一原発事故で加須市に避難している福島県双葉町の町民もいる。発足に当たり大きな夢を掲げた。十年後に米国ニューヨークで、加須の民話を題材にしたオリジナルのミュージカルを上演する。



団員を指導する阿瀬見貴光さん(加須市で)

「いけない」。故郷加須の文化に貢献したいの思いも加わり、気持ちが固まった。

練習は和やかな雰囲気だ。進み、団員に笑顔が広がる。「大事なのは団員の居場所をつくってあげること。自分のことを見てくれる、認めてくれる人がいるんだ」と。歌や演技の指導をしながら常に心掛けている。

「自己表現やコミュニケーションがうまくできない若者が多いと感じる。自分を変えたいという人も多い。居場所を見つけ、その上で技術を習得して拍手をもらう。満足感を得て、生きていくんだと実感してほしい」。団員へ託す思いだ。

六日の初練習後、団員が願いや夢を紙飛行機に書いて一斉に飛ばした。行く先は、ニューヨークの舞台へとつながっている。

(石井宏昌)

昨年七月、ミュージカルを通して市民の交流や地域文化を盛り上げようと、事務局を務める仏具店経営の折原久義さん(六六)らと発足した。年一回の公演を予定し、小学生から八十歳までの男女約四十人の団員が週一回、練習を重ねる。東京

「冷静に考えれば半端じゃないくらい厳しい。でも一人一人がものすごく本気を出せばできないことはない。団員に『自分で限界を決めるな』と、いつも言っている。そうした積み重ねで奇跡は起こる」。高校時代、教諭の勧めでミュージカル部に入り、舞台を経験。演技や歌の評価がダイレクトに伝わる世界に魅了された。プロとして

活動後も「舞台上で自分が得た感動を多くの人に伝えたい」「ミュージカルやオペラを鑑賞する文化を根付かせたい」と、地域のアマチュア音楽活動の育成に携わっている。

「ミュージカルかぞ」の発足は、阿瀬見さんが指導する合唱団で団長を務めた折原さんの提案だった。二〇一〇年六月、都内の新

国立劇場で舞台を終えてオートバイで帰宅途中で車と接触。生死をさまよった。病院の集中治療室で十一日間もがいた。左脚は完治は見込まず、症状固定の状態だが、健常者と同様に歩けるようになった。「せっかく生きていくんだから人の役に立たないと、生き

ているうちに何かやらない

あせみ・たかみつ 旧騎西町(現加須市)出身、上尾市在住。国学院栃木高校(栃木県)、昭和音大を卒業し、オペラ歌手(テノール)に。新国立劇場(東京都)を中心に

活躍する傍ら、アマチュアの音楽・文化団体の育成に力を注ぐ。「ハーモニーかぞ」(加須市)常任指揮者、「劇団明野ミュージカル」(茨城県筑西市)音楽監督も務める。